



雄大な朝日が照らす アンコール・ワット カンボジア

アンコールの遺産群はカンボジアの首都プノンペンから約320kmに位置するシェムリアップという街にある世界遺産です。人口は20万人ほどの小さな街ですが、世界中から観光客が訪れる観光都市です。

9世紀初頭から約600年間カンボジアを支配したアンコール朝の建築物で、遺跡は自然の浸食や戦禍により荒廃し、国際支援による保存と修復が急がれています。

遺産群の中で、特に有名なアンコール・ワットは、ヒンドゥー教を代表する寺院建築で、早朝から多くの観光客が集まり、刻一刻と朝の光で染められ姿を現すアンコール・ワットはとても神秘的です。

バンコク駐在員事務所 中野 実





[Data]

カンボジア王国 基礎データ

面積 18.1万平方キロメートル（日本の約2分の1弱）

人口 14.7百万人（2013年政府統計）

首都 プノンペン

主要貿易品目

輸出 衣類、印刷物、履き物

輸入 織物、機械、電気機器

主要貿易相手国（2015年）

輸出：米国、英国、ドイツ、日本

輸入：タイ、中国、ベトナム